

2011年度 早稲田大学 教育学部

日本史 解答例

I 古代の東アジア外交 <易>

問1 高句麗 問2 舒明(天皇) 問3 ウ 問4 ウ・オ
問5 オ 問6 イ 問7 イ 問8 エ

問7・問8は誤りを選ぶ正誤問題だが、一発で誤文を見抜くのではなく、残りの選択肢を正文と判別することで正解を絞り込む。もっとも問8は、各選択肢の内容が難しいため「正文だろう」と推測することしかできない。厳しい問題だが、正解となる誤文はちょうど早稲田予備校の直前講習のテキストに誤文として登場していたものであった。

<http://www.derutoko.com/2011tekityuu.html#kyoiku>

II 寄進地系荘園 <易>

問1 延久 問2 長講堂領 問3 イ 問4 ア 問5 ウ 問6 オ 問7 オ

土地制度史を苦手としている受験生は多いが、この大問に難問は一問も存在しない。何がポイントなのかがつかみにくい土地制度だが、入試問題を分析すれば出題されやすいポイントははっきりする。図版も大変有名なもので、これを読解させる正誤問題に驚いた人がいるかもしれないが、センター試験や立教大などで出題されていた。

III 江戸時代の朝幕関係 <易>

問1 禁中並公家諸法度 問2 紫衣 問3 禁廷 問4 ウ 問5 イ・エ
問6 オ 問7 ウ 問8 ア 問9 ア・イ 問10 エ

本来は問5は難問なのだが、ある解法を知っていると正解しやすくなる。そのコツは早慶大向けの講習で伝授している。もっとも「大嘗祭の再興」については通年授業では扱わず、ハイレベルな情報を追加するオプション講座で説明していたもの。

IV 近代の対外戦争 <標準>

問1 ア 問2 オ 問3 エ 問4 ア・エ 問5 イ・ウ 問6 北伐 問7 陸奥宗光

レベルの高い正誤問題が並んでいる。どの選択肢も正誤判別が必要なわけではないが、「消去法」「一発正文判別法」「比較法」などを用いて問1～3は正解したい。問4は難問と考えてもかまわないが、ある程度解答を絞り込むことでギリギリ正解できそうだ。問5には早稲田らしい選択肢もちらほら見えるが、難問と判断した。

V 戦後の政治・外交 <易>

問1 作らず・持たず・持ち込ませず(漢字・仮名の別はこだわりません)

問2 日本電信電話公社・日本専売公社・日本国有鉄道

[電電公社・専売公社・国鉄]

問3 ア・エ 問4 ウ

問2の問題に冷や汗をかいた受験生がいるだろうが、今や三公社民営化は頻出事項であるし、2010年の青山学院大でも3つとも記述させる問題が出題されていた。また問4は、消去法が使えるので「周辺事態法」という用語を見聞きしたことがあれば正解できるだろう。

講評

近現代に細かい問題が多く、学習レベルがそこまで届いていない受験生は苦しめられただろう。「何がどこまで出されるか」という出題情報を正確に把握しておくことの重要性に気づくべきである。また、「戦後はどこまで覚えればいいのか?」と弱気で逃げ腰な質問をよく受けるが、Vの問題を見てどう思うだろうか。当方の難易度判断はあくまでも「易」である。他の大学で出題されている戦後の問題にくらべれば、はるかに易しい問題といえる。